

提出事例（主に研修1日目・2日目）について 受講者共通 開催要項からの抜粋

※大分県協会HPから提出に必要な様式をダウンロードしてください。

13. 演習における事例の提出について

本研修演習科目（7科目）での取り扱う実践事例について、国の実施要綱においては「基本的に各受講者が担当している事例を持ち寄る」とされており、事例の提出が受講要件となります。また、演習については、事例の提出の他、事例発表・司会進行などをお願いしますので、受講に際してあらかじめご承知ください。なお、事例の提出・発表等ができない場合は受講は認められませんのでご了承ください。

（提出事例の選定方法）

- 受講者1人につき7科目7事例を提出いただく予定
- 当該事例は、各受講者が主任介護支援専門員として他の介護支援専門員に**指導・支援した事例の提出を原則**とします。

（最初の事例提出は各受講者自身の2事例を提出）・・・受講申込みと同時に提出

- 認知症に関する事例（研修1日目）
 - リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例（研修2日目）
- ※それぞれ別の事例を提出してください。

（提出事例に関する資料：手書き不可）

- ①課題分析標準項目（基本情報・アセスメント様式）
※受講者共通の基本情報・アセスメント様式にて演習を行いますので、当協会HPからダウンロードした様式で作成提出してください。
- ②サービス計画書
※既存の書類（写し）を提出してください。
- ③課題整理総括表
※当協会HPからダウンロードできます。（提出はA3用紙）

（提出時期）

- 受講申込書の添付書類に研修1・2日目に使用する演習事例を加え、申込締切（平成30年5月16日）までに**提出**してください。

（研修3日目以降の事例提出について）

- 提出時期・提出方法・提出書類等については、改めて通知します。